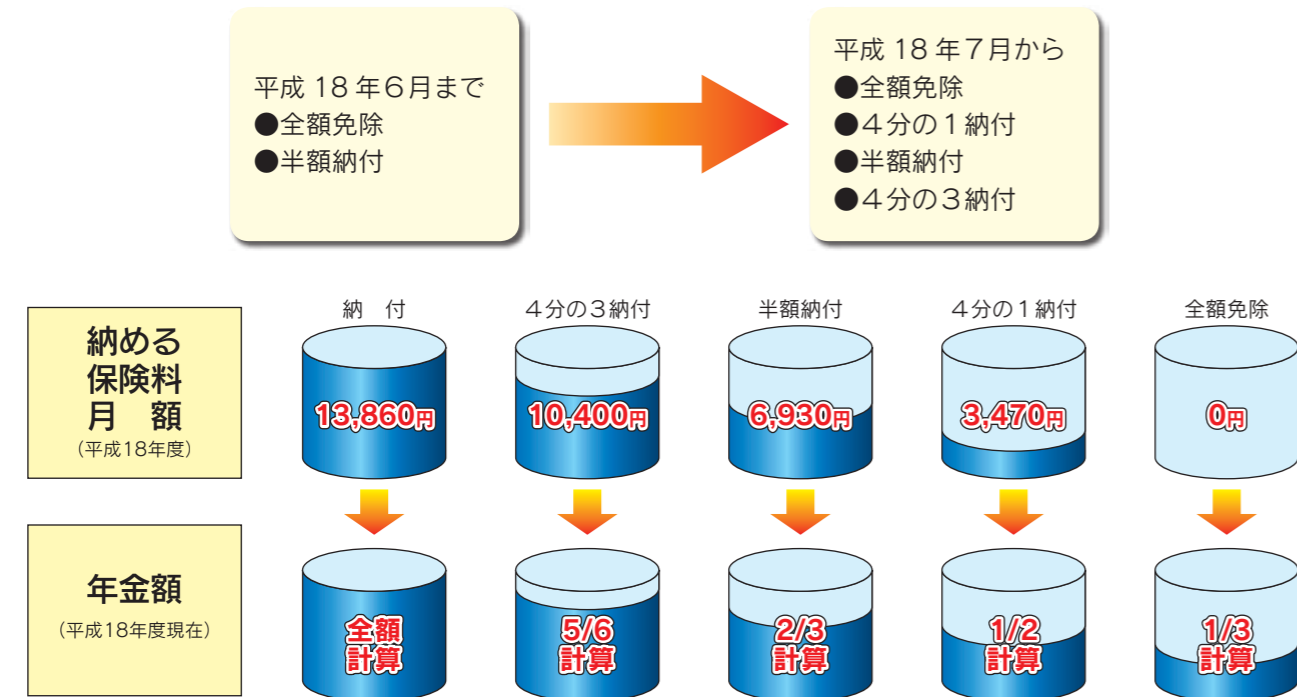


平成18年7月から「国民年金保険料の免除制度」が  
 利用しやすく **4段階** に変わります

国民年金情報  
 問い合わせ先  
 市民課市民年金係  
 ☎ (25) 1111

国民年金制度は、20歳以上60歳未満の全ての人が入る制度です。  
 老後の老齢基礎年金のほか、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取ることができる制度です。  
 国民年金保険料は、13,860円（平成18年度）です。しかし、経済的な理由などで保険料の納付が困難な場合は、申請手続きをすることで、保険料の納付が免除または一部納付（一部免除）できる制度があります。



○今後平成21年までに、基礎年金への国庫負担の割合が、3分の1から2分の1へ引き上げられることになっているため、引き上げが完了する前と後では、免除に応じて老齢基礎年金の給付率も変わります。  
 ○これらの制度を利用する場合は、本人、配偶者、世帯主の前年所得が、それぞれ一定の基準額以下であることが条件です。所得(収入)の「目安」は、右表のとおりです。

世帯構成別の所得の「目安」(平成18年度)

世帯構成	全額免除	一部納付		
		1/4納付	半額納付	3/4納付
単身世帯	57万円 (122万円)	93万円 (158万円)	141万円 (227万円)	189万円 (296万円)
2人世帯 (夫婦のみ)	92万円 (157万円)	142万円 (229万円)	195万円 (304万円)	247万円 (376万円)
4人世帯 (夫婦・子ども2人)	162万円 (257万円)	230万円 (354万円)	282万円 (420万円)	335万円 (486万円)

※世帯構成の「2人世帯」「4人世帯」は、夫か妻のどちらかのみ所得(収入)がある世帯の場合の「目安」です。  
 ※「4人世帯」のお子さんは、16歳未満の場合の「目安」です。  
 ※申請者本人のほか、配偶者および世帯主の所得も基準の範囲内であることが必要です。  
 ※注意事項  
 一部納付制度は、一部納付額を支払わなかった場合、一部免除が無効となるため、保険料未納期間と同じ取り扱いとなります。  
 また、万が一の時の障害基礎年金や遺族基礎年金を受給できない場合があります。免除申請の受け付けは、7月3日(月)から菊池市役所市民課市民年金係、各総合支所民生課市民係で行います。

おわびと訂正

5月1日号11ページの「手話通訳を介した年金相談ができるようになりました」の本文中の「視覚障害者」は「聴覚障害者」の誤りでした。  
 おわびして、訂正します。

5月11日(木)「かわはる空ちゃんクラブ」  
 が読み聞かせのボランティア活動  
 ～生涯学習ボランティア紹介シリーズ①～

生涯学習ボランティアの「かわはる空ちゃんクラブ」が、河原小学校で児童たちに絵本の読み聞かせを行いました。  
 同クラブの会員が、「あらしのよるに」などの絵本をやさしい声で読み聞かせると、児童たちは目を輝かせながら絵本の世界に引き込まれていました。  
 これは、菊池市が進めている「生涯学習ボランティア事業」で、地域でさまざまな特技を持っている人たちに、生涯学習ボランティアとして登録してもらい、菊池市内の小・中学校や地域の希望などに応じて活動しているものです。  
 同クラブも今年4月に登録した団体で、絵本・紙芝居の読み聞かせを中心にボランティア活動をしています。



児童たちに絵本を読み聞かせる会員

生涯学習ボランティアは、随時募集していますので、皆さんの登録をお願いします。  
 また、さまざまな人に登録いただいていますので、ボランティアを希望する場合は、菊池市役所社会教育課(☎25-1111)までお問い合わせください。

5月12日(金)・13日(土)  
 第7回ホテルフェスタin七城

ホテルフェスタが七城町の前川公園とその周辺で2日間あり、たくさんの小・中学生や親子連れなどで賑わいました。  
 前川公園には、特産品のメロンや金魚すくいなどの夜店が並び、訪れた人を楽しませました。  
 また、駐車場の七城総合グラウンドから会場までの道路脇には、約700個の竹灯籠が並べられ、幻想的に道案内もしました。  
 同公園周辺の用水路や川では、日の暮れる午後7時30分ごろからたくさんのホテルが舞い始め、来場者の目を楽しませました。



会場までの道案内をする竹灯籠  
 前川公園周辺の用水路を舞うホテル(5月9日午後8時撮影)

5月14日(日)市内5中学校で体育大会

菊池市内の中学校5校で、それぞれ体育大会がありました。  
 菊池北中学校では、白・赤・青団に分かれた全校生徒327人が参加して、昨年度の工事で新しくなったグラウンドで競技が行われました。  
 開会式では、北村栄一郎校長が「若いエネルギーを発揮し、一致団結して優勝目指して頑張ってください」とあいさつ。各団の団長3人が「日ごろの練習の成果を発揮し『光り輝け、新生北中～団結・挑戦・感動 勝利に向かって走りぬけ～』のテーマのとおり、全力でプレイします」と力強く選手宣誓して、生徒たちは元気いっぱい各競技に臨みました。  
 100m走やリレー、ダンスなどに精一杯取り組む子どもたちの姿に、保護者などからは盛んな声援が送られました。



100m走のゴール

5月15日(月)  
 七城温泉ドームの入館者が400万人突破

リバーサイド七城の温泉交流施設、通称「七城温泉ドーム」の入館者が400万人を突破しました。  
 400万人目となったのは、玉名市から家族で来たという荒木末則さんで、同施設を運営する七城町振興公社の社長でもある福村市長から、花束と記念品の同施設ペア宿泊券、七城米10kg、メロンゼリー1箱が贈られました。  
 荒木さんは「農作業の合間を見つけてよく来ます。こちらの電気風呂が好きです」と元気に話されました。  
 また、前後の入場者にも、七城米とメロンゼリーの記念品が贈られました。  
 同施設は平成9年3月にオープンし、週末には1日に1,300人を超える入場者で賑わっています。



福村市長(右)から記念品を受け取る荒木さん(左)